

アジア・太平洋地域のエネルギー需給見通し[◆]

土井 菜保子^{*} Edito Barcelona^{*} 松本 知子^{**} 関 思超^{***} 張 悦^{****}

要旨

本稿では、アジア開発銀行（ADB: Asian Development Bank）の委託により日本エネルギー経済研究所が作成した Energy Outlook for Asia and the Pacific に基づき、アジア・太平洋地域のエネルギー需給見通しを紹介すると共に、政策課題を検討する。以下は研究の要旨である。

- アジア・太平洋地域のエネルギー需要は、予測期間である 2005 年から 2030 年までに年率 2.4% で増加する見通しである。これは、世界のエネルギー需要予測が同期間に 1.5% 増¹ であるのと比較して、相対的に速いペースである。先進国グループを除いた開発途上国のエネルギー需要では、相対的に高い経済成長見通しと、エネルギーインフラ開発に支えられ、年率 2.6% 増とさらに高いペースでの拡大が見込まれる。
- 石炭は 2030 年時点でアジア・太平洋地域におけるエネルギー需要の最も大きい割合（38.3%）を維持する。しかしながら、発電部門と産業部門における省エネルギーを反映して、予測期間における石炭の増加率は、年率 2.1% 増と一次エネルギーの需要増（2.4%）のペースよりも緩やかとなる。
- 石油は年率 2.2% 増が見込まれるが、同時に域内生産が低下することから石油輸入への依存も拡大する。すなわち 2005 年にアジア太平洋地域は 13.2 百万 b/d の石油を輸入していたが、2030 年には 26.0 百万 b/d へと純石油輸入量はほぼ倍増する。
- 天然ガスは、環境対策を背景として 2005 年から 2030 年まで年率 3.6% 増と、化石燃料の中で最も高い伸び率で拡大する見通しである。アジア・太平洋地域は全体として、現在天然ガスは純輸出ポジションにあるが、各地域での需要拡大と、主な生産国を内包する東南アジア地域での生産ペース鈍化を受け、2015 年には純輸入ポジションに転じ、2030 年にはアジア・太平洋地域全体の天然ガス需要のうち 24% が輸入に依存する。
- 原子力エネルギー需要は、2030 年までに年率 5.1% 増であり、これはエネルギー源別で最も高い伸びである。環境対策とエネルギーセキュリティ確保の目的で中国及びインドで大幅に利用が拡大されることと、韓国、台湾、日本で継続的に利用されることを反映している。
- 新・再生可能エネルギー（NRE: New and Renewable Energy）は、石炭、石油、ガスに続き一次エネルギーで 4 番目に高い割合（2030 年で 11.2%）になる。アジア・太平洋地域では、非商業エネルギーの木材・牛糞といったバイオマスが NRE の大部分を占める。予測期間中には、これらの電力やガスといった商業用エネルギーへの転換が見込まれるため、風力や太陽光の急速な伸びを相殺し、新・再生可能エネルギー全体としては、年率 1.3% 増と緩やかな増加が見込まれる。
- 電力需要は所得水準の向上と供給インフラの拡大に伴い、3.4% 増と急速に拡大する。
- エネルギー起源の CO₂ 排出量は、年率 2.3% 増と一次エネルギー需要の伸び（年率 2.4% 増）より僅かながら低いペースでの増加が予測される。非商業用エネルギーから商業用エネルギーへの転換がエネルギー需要と CO₂ 排出量の増加を下支えする一方、石炭から天然ガスや原子力へのシフトが CO₂ 増加要因を相殺することが背景にある。
- 新規エネルギーインフラ建設と、老朽化した設備の更新に対し、アジア・太平洋地域は、2005 年から 2030 年の間に累積でおおよそ 7.0 兆ドル（2006 年価格）から 9.7 兆ドルの投資を必要とする。

◆ 本稿はアジア開発銀行（ADB）の委託により作成した“Energy Outlook for Asia and the Pacific”に基づいている。予測作業にあたっては、(財)日本エネルギー経済研究所の計量分析ユニット、ならびにアジア太平洋エネルギー研究センターの研究員の協力を得た。

* (財)日本エネルギー経済研究所 計量分析ユニット 主任研究員

** (財)日本エネルギー経済研究所 戦略・産業ユニット 石油グループ 研究員

*** (財)日本エネルギー経済研究所 戦略・産業ユニット 新エネルギーグループ 研究員

**** (財)日本エネルギー経済研究所 戦略・産業ユニット 国際動向・戦略分析グループ 研究員

¹ EIA. 2009. *International Energy Outlook*. Washington D.C.